

2020, 7月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和2年7月1日

Nhan hieu Thông minh Khỏe mạnh



マスコットキャラクター
「ハッチー」

やさしく

ニャンハオ

かしこく

トゥオンミン

たくましく

ホェエメイン

本文はユニバーサルデザインの書体を利用します。

入学式

明石清二

温かい雰囲気に入れられ、すがすがしい表情で入場した子供たち。その表情には、晴れやかな場での慎ましさと友達と一緒に生活できる安堵感などが入り交じり、見ていてほほえましい姿がありました。

時期的に遅くなりましたが、一つの節目を迎えることができましたことに、大きなうれしさを感じています。これもひとえに関係機関の皆様、保護者の皆様のおかげでございます。心から御礼を申し上げます。特に、前日の準備に携わっていただきましたボランティアの皆様には、清掃から始まり細かい準備まで本当にありがとうございました。

入学式には、新入生を迎える会の意味合いも持たせましたので、各学年からのビデオメッセージがあり和やかな雰囲気となりました。どの学年の子も、温かい子供たちだなと感じました。1年生がお礼に歌った曲も真心が込められ、一生懸命に歌う真摯な姿に本校のすばらしさを感じました。

入学、卒業、就職、……人生の節目を適切に迎え、次の扉を開いていくことが生きる目的の一つなのかもしれません。入学式に見せたあの表情こそ、これからまた一生懸命に頑張ろう、顔を上げて生きていこうとする気持ちの表れであると思います。

以前勤務した小学校で、入学式の直前に新入生から「おじさん、だあれ?」と尋ねられたことがあります。「おじさんは、皆のお父さんなんだ。」と答えると「じゃあ、甘えていいんだね。でも、きちんと生活するよ。ありがとうございます。」とぺこりと頭を下げました。心根の優しい子だと思いました。きっと自宅では、甘えさせてもらった上で、しっかりと躡けられているのでしょう。甘えたい時期に十分に甘えさせることは、私たち大人の役目といってもいいかもしれません。だんだんと成長し、一日の内でちょっとだけ甘えたい。これをかなえてやるのも親としての努めでしょうか。

そんな甘えっ子も中学生になると急に大人びた姿に変貌します。中学校の入学式に出席しますと、少し大きめの制服に身を包みながら、顔を上げ正面を見据えて入学する生徒の姿を見ることができます。正に一つの節目を迎えた瞬間です。とはいえ、甘えたいときには、まだまだ甘えたい年齢です。この時期の甘えは、精神的なよりどころになる甘えです。じっくり話を聞くのもいいでしょうし、傍にいて互いに何かをしているという無用の用もすてきな一時だと思います。

入学式は、ハノイ日本人学校の底力を見た一日でした。小中学部全学年とも大きく成長していることに誇りを感じます。



着任のお知らせ

事務局長 松下 和宏 事務局次長 大道 博敏 事務局員 星澤 有紀 が着任しましたので、お知らせいたします。隔離後、7月中旬より勤務します。